

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	けやきネクスト		公表日		令和7年 1月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	利用時間を時間を分けている。部屋を分けて活動などを行っている。 活動、学習等によって部屋を分けることができ、1スペースあたりの人数の調整が可能です。 学習室や活動する部屋を分けております。 また送迎時間も分かれています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	階段に手すりが設置されており、また必要に応じてスタッフが対応するようにしています。 階段はあるが、手すりがあります。 階段の昇り降りの際に介助を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		活動に合わせて広く使えるよう空間を作っていきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	部屋を分けて活動を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0		ミーティング等で課題になった内容をどうしたらいいかと意見を出し合い改善を行い、まずは実践し振り返り、さらにいい方法を探しながらと改善を行っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		意向を共有し、その内容を改善していきより良い施設の運営をできるよう日々改善しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	会社として他事業所が取り組んでおり、そこからのフィードバックを行なっている 他事業所が取り組んでおり、フィードバックを共有しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	絶対にでないといけない研修、職員自身の能力向上の研修を職員自ら選んで行けるようになっている。 動画にて確認させていただいております。 定期的な研修があり、見れない方も動画視聴を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	4	10月現在は公表されていないが、今年度公開されるようになっていく。 今年度内に作成し、公表予定です。 3月の発表に向けて作成途中である作成途中となっています。	現在作成中です。今年度中には公開させていただきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	こども、保護者に聞き取りを行い作成している。 児童と面談を行ったりしてしています。 児童に対して聞き取り面談を行いニーズの把握をしている。	保護者面談にてお話し、保護者のニーズもしっかり把握し、計画を立てていけるようにしていきます
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	職員で支援会議を行っている。	話し合いの意見をもとに同じ方向性を向いて支援していただけるよう共通理解の下で支援を行えるよう努めている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	情報共有サイト（HUG）など個別ファイル、会議などを通して共有されている。 会議やhug個別ファイルでの共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	日々の行動観察を行い、また子ども本人や保護者からの聞き取りを行なっている。 インフォーマルな形式による行動観察 日々の児童の行動を観察し支援にあたっている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	チーム全体の意見を尊重している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	ボードゲームや様々な遊びの提供を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個別活動は面談を行い、集団活動ではSST的なこと取り組んでいる。 ボードゲームやSSTを通し支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	昼礼終礼を行い共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	昼礼終礼を行い共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		児童の状況に合わせて支援の方向を変更している
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	様々な活動を通して行っています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	心理士などを派遣している。心理士が参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	主に教育の関係機関と連携している。 教育方面の関係機関との連携	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	送迎時間の確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4	いる児童の学年が高いため、就学前に利用していたところとは、行なっていないが、前に利用していた事業所などは連携を行なっている。 就学前では年齢的に離れているため、前事業所との情報共有をしています。 在籍児童の年齢が高いため前に通っていた事業所と情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	対象児童がいません。 対象児童がいないため	該当する児童がいない為、今後該当する児童が卒業した際に情報提供をしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0		地域の児童発達支援センターとの連携はありませんが、外部から講師を呼び研修をして頂いている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		より多くの地域交流が行えるよう、機会を設けていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	会社として参加をされています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	公式LINEや連絡をし情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	なっている・保護者会などの機会を受験のことなど情報提供をしています。	家族での対応方法の参考内容などを聞き、事業所での取り組みの情報も提供していく
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に説明させて頂いています。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	保護者や児童との面談を通して行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	保護者会を行っており、保護者同士で交流する機会を作っている。行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	0		家族での対応方法の参考内容などを聞き、事業所での取り組みの情報も提供していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	hugでの活動記録等で情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	会社として取り組んでいます。エンジョイ祭りなど会社として行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	保護者様には公式LINEを通して行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	会社として作成しております。	取り組んだことを保護者様に伝えていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	アセスメントシートを利用して把握しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	衛生管理の研修を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			